



すべては未来のために 吉村かずや後援会

このまちに育ててもらった感謝を、未来への力に。

- ✓ 地域のつながりを深化させ「孤立のない社会を作る」
- ✓ 「心と身体を育む」まちづくりの実現
- ✓ 「行財政の抜本的見直し」と「産業の発展」

✓「心と身体を育む」まちづくりの実現

Pickup! 放課後クラブでフォークダンス

コロナ禍以降“手をつなぐ体験”が減った子どもたちに、人と心を通わせる喜びを感じてほしいと、

2025年9月、岐阜市内の放課後見守りクラブで、子どもたちとフォークダンスを踊りました。

曲目▼

・「あしびなー」・「ビリーブ」

体を動かし、笑い合う時間が、

心の安心につながると信じています。

岐阜市が「心と身体を育むまち」として、その輪を未来へとつないでいきます。



✓「孤立のない社会を作る」

岐阜市は端末支援、各務原市は仕組みづくりー「DXの未来はどちらに？」

岐阜市では、市内50連合会の会長に1人1台のタブレットを貸与し、自治会業務のデジタル化を支援しています。しかし、導入後の活用や効果検証は十分ではありません。

一方、各務原市では「結ネット（ゆいネット）」という情報共有プラットフォームを整備し、自治会と行政のやり取りをシステム化。令和7年1月から本格稼働を目指し、現在17連合会・約400名を対象に展開中です。すでに約250名（利用率64%）が登録し、自治会内での情報共有にも活用が進んでいます（2025年6月調査時点）。

特徴は「紙とデジタルのハイブリッド」。紙でのやり取りを希望する声も尊重しつつ、無理なくデジタル化を進めています。活用を支える“仕組み”への投資こそ重要です。デジタル化は効率化のためではなく、地域のつながりを柔軟にするための手段。岐阜市にも、そんな視点が必要です。

皆さまのご意見をお聞かせください。

いただいたご意見を参考にし、社会に役立つ取り組みへと活かしていきます。

ホームページ



Instagram



facebook

発行元 すべては未来のために 吉村和也後援会事務所
〒501-2566 岐阜市福富天神前369番地

～「市政情報」～

地域を守る誇りに敬意を込めて

水防団退職報償金を改定
5年延長で10万円増額

岐阜市では、水防団員の退職報償金について、支給区分と金額が改定されました。これまで「30年以上」が最長区分だったものを、新たに「35年以上」の区分を設け、支給額を一律10万円増額しました（令和7年4月から改定）。

所感：「活動は大変なこともありますが、仲間と力を合わせて地域を守る一体感は何にも代えがたいものです。雨の中の作業や訓練を通じて、“自分たちの手でまちを守っている”という誇りを感じます。」

吉村かずやプロフィール

岐阜市福富天神前
1986年3月生 39歳

【経歴】

三輪中学校 卒
岐阜三田高等学校 卒
(現:岐阜城北高等学校)
中日本航空専門学校卒
放送大学教養学部 卒

【職歴】

川崎重工2006-2022
三輪南農産入社2023-

【地域活動】

令和5年度、6年度 三輪中学校PTA会長
陸上部活動外部指導者
日本陸連ジュニアコーチ修了
みわスポーツクラブ理事
三輪南体育振興会理事
三輪・藍川献血クラブ幹事
三輪南まちづくり協議会所属
三輪水防団所属
愛友会会員（福富団地祭りの会）
長良川球友会所属（草野球チーム）
令和5年度、6年度 少年地域補導委員
岐阜市まちなか博士初級取得
C級プログラミングリーダー取得(ゴミ拾いリーダー)

すべては未来のために **アクション!** 吉村かずや後援会

信頼を生むのは、声の“見える化”だと考えます！

Action! なぜ“市長への手紙制度”が今、問われているのか。

岐阜市では「市長への手紙」制度により、市民からの提案や意見を受け付け、市の回答要旨を公開しています。しかし、件数の推移や分野別の傾向、平均回答日数といった時系列のデータは集計・公開されていないのが現状です。

「行政への提案や意見は、市民と行政をつなぐ大切な対話の窓口です。」

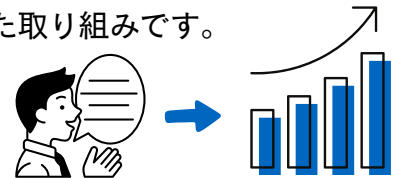
けれども、どれほど意見が寄せられ、どの分野で多いのかが見えなければ、参加意識や信頼の向上につながりにくいという課題があります。

こうした情報を定期的に可視化し、「どんな声が届き、どう市政に反映されたのか」を共有することが、これからの自治に求められています。

一方、さいたま市では「市民の声」制度を設け、受付月や分野別に検索できる仕組みを整え、市民が月ごとの動向を把握できるようになっています。

このような可視化の仕組みは、行政運営の透明性を高める優れた取り組みです。

「声の数だけ、市政が動く。だから“見える化”を。」



岐阜市でも今後、月別統計やグラフ、CSV公開を取り入れ、市民と行政がともに改善を進める「開かれた市政」の実現に向け、提案を続けます。

— 心と体が整う、静寂のひととき —

Action! 吉村かずや後援会「法華寺・菜飯定食を味わうツアー」を企画

今回は地元の良いところを再発見するために岐阜市・三田洞弘法 法華寺にて「菜飯定食」をいただくツアーを企画しました。

庭園を眺めながら味わう食事は格別で、静かな空気の中に心が整う感覚があります。

2025年9月の訪問では、「菜飯」「田楽」「漬物」「お味噌汁」「ゴーヤとじゃこの和え物」

など、どれも滋味深く体にやさしい味わいでした。特に田楽の香ばしさと味噌の風味が菜飯に良く合い、思わず笑顔がこぼれます。

静かな三田洞で、心が整う体験を。

どうしても一緒に感じてほしい時間があります。

【三田洞菜飯ツアーのご案内】

日時：11月29日（土）お昼12時 法華寺集合

料金：菜飯定食 900円（現金のみ）

定員：10名

住所：岐阜市三田洞131（駐車場あります）

ぜひQRコードより
お申し込みください



「田楽」



「菜飯定食」



「庭園を眺めながらのお食事」